

高校生現場見学会

土木・建築分野を学ぶ高校生に実際の建設現場を見てもらうことで、建設業への理解、興味関心を深めてもらい、将来の進路選択の一助となるよう、県土木建築部と共催で、高校生現場見学会を毎年実施しています。



見学会
DATA

「小郡萩道路」道路改良工事
下関工科高等学校 建設工学科土木コース2年9名

令和元年
9月10日

人々の生活を支える 道路改良工事現場へ

「小郡萩道路」は、県央の交通拠点である山口市小郡、主要観光地である美祿市秋吉台、山陰の中心都市である萩市を結び、中国縦貫自動車道等と連結する約30kmの地域高規格道路です。現場見学時は絵堂・萩市椿間約15kmの道路改良工事が行われていました。

はじめに、萩市明木の現場事務所集合した生徒達は、本協会職員から地元建設業界のPRを受けた後、萩土木建築事務所の職員から工事の概要説明を受けました。その後、施工中の角力場トンネルの坑門（入り口）を見学。まだ、掘り始める前の状態でしたが、生徒達はトンネル内部を支える鋼製の枠や、タイヤの大きさが背丈ほどもある巨大なダンブを見て回り、スケールの大きさに驚きの声を上げていました。次に、同じく萩市明木のボックスカルバート周辺の盛土工事施工現場を見学。詳細な設計図を確認しながら実際にボックスの中を歩きました。

午後からは、美祿市美東町絵堂にある「法面対策工事」の現場へ。見学の法面には、抑止力を付与する巨大なアンカーが打ち込まれており、斜面を削っては入れ、削っては入れの長い月日かけた作業を行っているとの、宇部土木建築事務所の職員からの説明に、生徒の皆さんは深く頷いていました。

使用されている機械や施工されている物はもちろんですが、力を合わせ、知恵を集めて、作り上げていく人の力を感じてほしいですね。

建設工学科
末永 慎一先生



普段見ることでできない現場を見て感動しました！

建設工学科2年
東 里菜さん



本で見ると実際に見るのでは、受ける印象が全然違いました。将来はものづくりに携わりたいです。

建設工学科2年
中田 千鳥さん



授業でやった内容もありましたが、初めて聞くことも多く驚きの連続でした。

建設工学科2年
市田 光稀くん

2019年度 高校生現場見学会 参加校 (延べ11校 321名)

■土木系学科

工事名	実施日	対象生徒	学校名
錦川総合開発事業平瀬ダム建設工事	5月29日	40名	徳山商工高校 (保護者6名)
絵堂萩道路改良工事・県道美祿谷油谷線道路改良工事	6月6日	29名	萩商工高校
錦川総合開発事業平瀬ダム工事・岩国大竹線道路改良工事	6月6日	35名	田布施農工高校
	6月11日	35名	岩国工業高校
	8月27日	39名	山口農業高校
絵堂萩道路改良工事・小郡萩道路改良工事	9月10日	9名	下関工科高校
錦川総合開発事業平瀬ダム建設工事・森ヶ原北川通常砂防工事	9月13日	6名	宇部西高校
合計 7校 193名			

■建築系学科

工事名	実施日	対象生徒	学校名
山口県立大学3号館新築工事	5月28日	31名	下関工科高等学校
下関漁港地方卸売市場本館中央棟新築工事	6月11日	34名	岩国工業高等学校
	6月12日	32名	柳井商工高等学校
下関漁港地方卸売市場本館南棟増築工事 (第2工区)	6月13日	31名	萩商工高等学校
合計 4校 128名			